

令和 3 年度実施施策に係る事前分析表の概要 (農政分野)

令和3年度の評価で A' 又はC判定となり、要因分析を行った指標のフォローアップ

本資料の読み方

令和3年度の実績値を記載

(3)-①-Ⅰ 1 中央卸売市場当たりの取扱金額

(単位：億円)

	28年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	695	707	710	713	716	719	719
実績値		605	617				

R2年度：C 評価

新型コロナウイルス感染拡大対策による業務需要の大幅な落込み。

R5年度： 評価

令和3年度に行った令和2年度実績の評価の結果及び要因分析の概要を記載

【令和4年度以降】

事前分析表の指標番号

(3)-①-Ⅰ 場内物流改善体制の構築に取り組んでいる卸売市場数

(単位：卸売市場数)

	3年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	0			18	36	55	55
実績値			0				

／：測定指標の見直しなどにより、目標値を設定していないもの

空欄：今後、把握予定のもの

※ 測定指標の見直しを行った場合、新旧の測定指標及びその目標値等を上下に並べて掲載。

目標の達成度合いの判定基準

A'	目標値に対する達成度合いが150%を超える
A	目標値に対する達成度合いが90%以上150%以下
B	目標値に対する達成度合いが50%以上90%未満
C	目標値に対する達成度合いが50%未満

※ 平成25年度以降、本基準を基本として達成度合いを判定。

1. 新たな価値の創出による需要の開拓

(3)-①-1 1 中央卸売市場当たりの取扱金額

(単位：億円)

	28年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	695	707	710	713	716	719	719
実績値		605	617				

R2年度：C 評価

新型コロナウイルス感染拡大対策による業務需要の大幅な落込み。

R5年度： 評価

【令和4年度以降】

(3)-①-1 場内物流改善体制の構築に取り組んでいる卸売市場数

(単位：卸売市場数)

	3年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	0			18	36	55	55
実績値			0				

3. 消費者と食・農とのつながりの深化

(1)-②-7 農林漁業体験を経験した国民の割合

(単位：%)

	2年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	66	40	66.8	67.6	68.4	69.2	70
実績値		66	61.3				

R2年度：A' 評価

実績値を把握する調査の調査対象や調査方法が変更。
R3に目標値を見直し。

R5年度： 評価

4. 食品の安全確保と消費者の信頼の確保

(1)-①-7 有機物や副産物を原料とする普通肥料の生産量の増加率

(単位：％)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	0.2	2	4	6	8	10
実績値		-8.17	把握中				

R2年度：C 評価

新型コロナウイルス感染症の影響により肥料原料となる食品の製造過程等で発生する副産物量が減少。

R5年度： 評価

(2)-②-7 生産者における農畜水産物の出荷記録の保存（基礎トレーサビリティ）の取組率

(単位：％)

	3年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	87	78	79	88	89	90	91
実績値		89	85				

R2年度：A' 評価

実績値を把握する調査の調査方法が変更。

R5年度： 評価

※令和4年度に目標値の見直しを実施。

(2)-②-1 流通加工業者における入荷品と出荷品の相互関係を明らかにする記録の保存（内部トレーサビリティ）の取組率

(単位：％)

	3年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	46	42	43	47	48	49	50
実績値		45	46				

R2年度：A' 評価

実績値を把握する調査の調査方法が変更。

R5年度： 評価

※令和4年度に目標値の見直しを実施。

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（1／4）

(1)-①-ア 生乳の生産量

（単位：万トン）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	728	737	741	745	750	754	780
実績値		743	765 （速報値）				

R2年度：A' 評価

酪農側と乳業側が一体となり施設整備や乳用後継牛の増頭等の基盤強化等を実施。

R5年度： 評価

(1)-①-ウ 豚肉の生産量

（単位：万トン）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	90	90	91	91	91	91	92
実績値		92	把握中				

R2年度：A' 評価

豚肉消費量の増大や養豚経営の効率化、体質強化等を実施。

R5年度： 評価

(1)-①-エ 鶏肉の生産量

（単位：万トン）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	160	162	163	164	165	166	170
実績値		165	169				

R2年度：A' 評価

需要が高く増産意欲が高い中、施設整備や機械導入支援による生産基盤強化等を実施。

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（2／4）

(2)-①-7 指定野菜（ばれいしょを除く）における加工・業務用野菜の出荷量

（単位：万トン）

	29年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	98	103	107	112	117	122	145
実績値		106	102				

R2年度：A' 評価

（水田を活用した新産地の育成、農産加工処理施設整備等による安定供給体制整備の推進。）

R5年度： 評価

(2)-④-1 薬用作物の栽培面積

（単位：ha）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標値）
目標値	550	573	584	596	607	618	630
実績値		523	494				

R2年度：C 評価

（契約メーカーによる面積集計作物以外の薬用作物への作付転換、発芽不良等による栽培中止。）

R5年度： 評価

(3)-①-7 1人あたり米の消費量

（単位：kg/人/年）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	53.6	52.5	52.0	51.7	51.3	51.0	50.0
実績値		50.7	把握中				

R2年度：C 評価

（新型コロナウイルス感染症による外出自粛等に伴い、前年度末に前倒し購入が生じたことが影響。）

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（3／4）

(3)-②-7 小麦の生産量

（単位：トン）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	764,900	810,167	833,795	858,113	883,139	908,896	1,080,000
実績値		949,300	1,097,000				

R2年度：A' 評価

（低単収要因の克服に向けた支援による効果が表れたことに加え、天候に恵まれた。）

R5年度： 評価

(3)-②-1 大豆の生産量

（単位：トン）

	30年度 （基準値）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 （目標値）
目標値	211,300	228,733	237,982	247,605	257,617	268,034	340,000
実績値		218,900	246,500				

R2年度：C 評価

（コスト低減、基盤整備に取り組んだが、天候不順等により本州で生産が伸び悩み。）

R5年度： 評価

9. 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化（4／4）

(3)-③-7 飼料用米・米粉用米の生産量

(単位：トン)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	12年度 (目標値)
目標値	454,216 飼料用米 426,521 米粉用米 27,695	509,683 飼料用米 472,101 米粉用米 37,582	537,188 飼料用米 494,891 米粉用米 42,297	565,389 飼料用米 517,681 米粉用米 47,708	594,386 飼料用米 540,471 米粉用米 53,915	624,298 飼料用米 563,261 米粉用米 61,037	830,000 飼料用米 700,000 米粉用米 130,000
実績値		413,893 飼料用米 380,502 米粉用米 33,391	704,339 飼料用米 662,724 米粉用米 41,615				

R2年度：C 評価

飼料用トウモロコシの価格低迷を背景とした飼料用米から備蓄用米等への転換、東海以西でのトビイロウンカの被害、日照不足等。

R5年度： 評価

(5)-①-7 担い手の米の生産コストにおける生産資材費（農機具費、肥料費、農業薬剤費）と労働費

(単位：円／60kg)

	26年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	個別経営 6,497	個別経営 5,881 組織法人経営 5,878	個別経営 5,778 組織法人経営 5,776	個別経営 5,675 組織法人経営 5,674	個別経営 5,573 組織法人経営 5,572	個別経営 5,470 組織法人経営 5,470	個別経営 5,470 組織法人経営 5,470
実績値	組織法人経営 6,491	個別経営 6,367 組織法人経営 6,693	個別経営 6,463 組織法人経営 6,672				

R2年度：C 評価

為替変動により原料調達コストが上昇し、生産資材価格全体が上昇基調に転じた。

R5年度： 評価

13. 地域資源を活用した所得と雇用機会の確保

(2)-②-7 グリーン・ツーリズム施設年間延べ宿泊者数及び訪日外国人旅行者数のうち農山漁村体験等を行った人数

(単位：万人/年)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	1,212	1,290	1,340	1,390	1,440	1,490	1,540
実績値		519	553				

R2年度：C 評価

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内外の旅行者が大幅に減少。

R5年度： 評価

15. 農村を支える新たな動きや活力の創出（1／2）

【令和2年度】

(1)-②-7 地域活性化対策において、新たに農山漁村の関係人口の拡大に資する取組を実施した地域数

(単位：地域)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	10	20	30	40	50	60
実績値		61					

R2年度：A' 評価

都市住民の地方移住の関心が高まる中、オンライン形式で農林水産業の体験研修を実施。

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

(1)-②-7 グリーン・ツーリズム施設年間延べ宿泊者数及び訪日外国人旅行者数のうち農山漁村体験等を行った人数（分野13-③再掲）

(単位：万人/年)

	30年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	1,212	1,290	1,340	1,390	1,440	1,490	1,540
実績値		519	553				

R2年度：- 評価

R5年度： 評価

15. 農村を支える新たな動きや活力の創出（2／2）

【令和2年度】

(1)-③-7 地域活性化対策における地域課題の解決に取り組む地域のうち、新たに外部人材を活用した地域数

(単位：地域)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標値)
目標値	0	5	10	15	20	25	30
実績値		10					

R2年度：A' 評価

都市住民が農山漁村に移住するための取組の支援が求められる中、専門的スキルを有する人材活用支援を実施

R5年度：- 評価

【令和3年度以降】

(1)-③-7 地域活性化対策において、新たに外部人材を活用した人数

(単位：人)

	元年度 (基準値)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度 (目標値)
目標値	0		40	60	80	100	100
実績値			36				

R2年度：- 評価

R5年度：- 評価